

砂防学会北海道支部ワークショップ 「北海道豪雨災害(2016)・北海道胆振東部地震(2018) 砂防調査情報交換会」

日時: 2019年8月21日(水) 15:00-18:00

会場: 北海道大学農学部中講堂室

砂防学会北海道支部では、近年の北海道の代表的な土砂災害である2016年の十勝地方の台風災害と2018年の胆振東部地震による厚真町などでの土砂災害に対する各機関の最近の調査研究状況や対策事業の進捗状況等について情報交換・意見交換することを目的に、ワークショップを開催しました。大学・研究機関・行政機関・民間コンサルタントから約40名の参加者があり、計13件の話題提供を受けて活発な質疑応答が行われました。



本研究集会は、砂防学会公募研究会「北海道における継続的な土砂移動に関する研究会」の活動でもあります。

砂防学会北海道支部ワークショップ 「北海道豪雨災害(2016)・北海道胆振東部地震(2018) 砂防調査情報交換会」プログラム

- 松岡直基(一般財団法人日本気象協会北海道支社兼株式会社北海道気象技術センター(Howtecc)) :
胆振東部地震斜面崩壊への降水の影響について
- 武田淳史(北海道開発局建設部河川計画課):
胆振東部地震による土砂災害に対する直轄の対策状況
- 伊藤拓郎(北海道庁建設部土木局河川砂防課):
2016,2018災害の砂防事業進捗状況について
- 秋田寛己(国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所):
2016年8月豪雨及び2018年胆振東部地震に伴う土砂動態について(寒地土研の取組)
- 永野統宏(日本工営株式会社):
平成28年8月出水に伴う戸蔭別川における土砂流木流出状況について
- 塩野康浩(国土防災技術北海道株式会社):
UAVによるオルソ写真を用いた河床礫径調査について
- 宮崎知与(株式会社シン技術コンサル):
H28年8月出水におけるペケレベツ川の土砂移動特性の考察
- 早川智也(日本工営株式会社):
黒岳沢における土石流と降雨との関係、小型無人ヘリ調査、沙流川土砂流出状況
- 笠井美青(北海道大学):
平成30年北海道胆振東部地震で発生した崩壊の面積-頻度分布の特徴
- 輿水健一(地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所):
北海道胆振東部地震後における崩壊斜面の浸食過程と土砂動態
- 桂真也(北海道大学):
ハビウ川上流域の降下火砕物が厚く堆積する斜面における雨水浸透特性の把握
- 濱原能成(日本工営株式会社):
日高幌内川河道閉塞における水文に関する考察について
- 山田孝(北海道大学):
地震動に起因した火山灰堆積斜面崩壊による崩土危険区域設定、崩土氾濫・堆積モデル作成に向けての調査(2018年北海道胆振東部地震の事例)